

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連シニアクラブ事務局

2024/1/1

第 72 号

基幹労連 H/P : <http://www.kikan-roren.or.jp>

TEL : 03-3555-0401



迎春



新年明けましておめでとうございます。

発展を期して組織名を改称し、初めて迎える新年です。会員各位の一層のご健康とご多幸をお祈りし、各ご代表のご挨拶をお届け致します。

【基幹労連シニアクラブ 兼子 昌一郎 会長】

「安心して暮らせる社会」に向け着実に活動していきます



明けましておめでとうございます。

去年は、国民生活に多大な影響を及ぼし続けてきた新型コロナウイルスの「第5類」への移行を受け、私たちの活動も徐々に通常の活動に戻すことが出来ました。10月のシニアクラブ総会は4年振りに対面形式での開催が可能となり、あわせて組織結成の10周年も祝うことが出来ました。改めてこの間の役員皆様のご苦勞に感謝申し上げます。

内外共に激動の時代が続いています。

国際情勢の面では、特にロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東ガザ地区での紛争の激化など、日々心を痛める情報の連続であります。早期終結と一日も早い平和の回復を願わざるを得ません。

国内においては、人口減少・少子高齢化社会がもたらしている問題や課題への対応、足元では、為替の急激な変動・物価高の進行など、国民生活に関わる課題が山積している状況にあります。

特に、高齢者にとっては、年金・医療・介護等への不安は高まるばかりで、「安心して暮らせる社会」に向けた抜本的なセーフティーネットの機能強化が求められています。基幹労連、退職者連合としっかり連携して、引き続き必要な取り組みを進めたいと思います。

基幹労連は昨年9月の定期大会で、2025年に予定されている第27回参議院選挙に向けてJAM組織内候補予定者「郡山りょう」氏の推薦を決定しました。私たちシニアクラブも基幹労連の取り組みを支援すべく総会にて推薦決定をいたしました。

様々な課題の解決に対応するためには、政治への働きかけや国政の場へのアプローチは不可欠であります。引き続き「村田きょうこ」参議院議員を応援しつつ、「郡山りょう」氏の勝利に向けて支援の輪を着実に広げていきたいと思っております。皆さんのご協力をお願いいたします。

構成組織の益々のご発展と会員皆様のご家族も含めたご多幸とご健康をお祈りいたします。本年もどうぞよろしくをお願いいたします。ご安全に！

【日本基幹産業労働組合連合会 津村 正男 中央執行委員長】

ものづくり産業は 人なくして成り立つことはない



明けましておめでとうございます。

基幹労連シニアクラブの皆様におかれましては、ご家族おそろいで健やかに新春を迎えられたことと存じます。

昨年は、約3年にわたり私たちの生命と生活を脅かしてきた新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行され、経済も回復傾向となりました。一方で、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の長期化、イスラエルとハマスの軍事衝突に加え、米ロ関係や中台関係など地政学的リスクの増大、円安・物価の高騰など、国内外ともに不安定な状態・状況が続いており、企業活動をはじめ、働く者・生活者の安心・安定・安全が揺るがされています。

こうした状況は当面続くともみなければならないと思いますが、産業・企業の発展と雇用と生活の安心・安定を追求し続けることは労使の役割であり、組合員とそのご家族の幸せを追求することが労働組合の究極の目的です。そのための基幹労連活動の柱の一つである産業政策、政策・制度の実現は、組合員の生活を支え、産業・企業の持続的発展につながる重要な取り組みです。

私たちものづくり産業は、人なくして成り立つことはできません。常にど真ん中に人を据え、性別・国籍や障害の有無にかかわらず、誰もが生き活きと働くことのできる職場を構築し、気概と誇りをもって活躍できる環境の構築が求められています。第27回参議院議員選挙に郡山りょう氏（JAM組織内候補予定者）を推薦し国会に送り出す取り組みを進めるとともに、皆さんにご協力いただき誕生させることのできた組織内議員「村田きょうこ」参議院議員をはじめ、各級組織内議員や国政フォーラム議員とも連携をはかり、産業別労働組合である基幹労連として求められる運動・活動に邁進してまいります。

変わらぬご指導をお願い致しますとともに、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

ご安全に

【日本退職者連合 人見 一夫 会長】

会員の皆様と共に頑張る年に



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には元気に新年を迎えられたことと思います。新型コロナウイルスパンデミックから4年が経過しましたが、コロナ感染も終息に向かいつつあります。今年も健康第一、生命第一にこの一年を乗り切っていきましょう。今年、岸田首相は解散総選挙に打って出るでしょう。選挙では、私たちの支持する議員を増やし安心して豊かに暮らせる地域社会を実現しましょう。

日本は人口減少、少子高齢化社会に突入しています。社会保障制度を充実させ、平和を守り、地域で安心して暮らせる社会をめざしていきましょう。そのためには年金、医療、介護、子育て等の施策の充実が欠かせません。岸田政権は全世代型社会保障構築会議を立ち上げ、社会保障制度の見直しを検討しています。給付の抑制と自己負担の増加には私たちは反対です。日本退職者連合は地域で生き活きと豊かに暮らせるために、会員の皆様と共に頑張る年にしたいと考えております。皆様のご健勝、ご活躍を祈念して新年のあいさつとします。

【組織内議員 村田 きょうこ 参議院議員】

先輩方の思いを活かして前に進みます

基幹労連シニアクラブの皆さん、明けましておめでとうございます。

早いもので、議員活動1年目があっという間に過ぎました。この間、先輩方の力強いご支援のおかげで国会に送り出していただいたことを心に刻み、ものづくり産業の益々の発展と、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、質疑をしてきました。企業向けの電力である

「特別高圧」への政府の支援を引き出せたことは、嬉しい出来事の一つです。また、参議院経済産業委員会での質疑の冒頭では「ご安全に！」の挨拶をし、他の議員にも「ご安全に！」の挨拶を広めています。

議員活動を経験して感じたことは、衆参合わせて713名の国会議員がいますが、ものづくりのことをよく知っている議員、ものづくりが直面している課題について国会の場で意見する議員は、それほど多くない、ということです。日本経済を支えているものづくりは、この先どうなってしまうのだろう？という強い危機感を抱いています。



そんな中、基幹労連は昨年9月の定期大会において、私の選挙を応援していただいた『ものづくり産業労働組合JAM』の組織内候補予定者「郡山りょう」さんを、次期参院選で支援することを確認しました。長年現場で働いてこられた「郡山りょう」さんを、皆さまのお力で国会に送り出していただくことで、政府に対してものづくりのことをより大きな声で訴えることが可能になります。そのためにも、来年7月の参院選に向けて、もう一度皆さまのご支援をお願い申し上げます。

昨年は、大阪で10月に開催された「基幹労連退職者の会第12回総会」に出席させていただき、どうもありがとうございました。皆さまから基幹労連結成の経緯や歴史等、いろいろなお話をお聞きすることができました。先輩方がいらっしゃって、今自分がこうして活動できるのだとあらためて実感するとともに、先輩方が引き継いでこられた思いを今後の活動に活かしてまいります。

2024年が基幹労連シニアクラブの皆さまにとって良い年になることをお祈りいたします。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。ご安全に！

【第27回参議院議員選挙 基幹労連推薦候補予定者 郡山りょう

(JAM組織内候補者)】

皆さんの熱い激励にしっかり応え頑張ります！



基幹労連シニアクラブの皆様、あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって、幸多い一年となりますことを祈念申し上げますとともに、会員相互連携のもと退職後の生活を楽しみ、そして生活を守る日頃のご活動に、心から敬意を表します。

私、郡山りょうは、2025年7月施行予定の第27回参議院議員選挙において、基幹労連の比例代表候補者として推薦いただくことを、昨年秋の基幹労連第21回定期大会でご確認いただきました。現在、全国各地を巡り、多くの単組・組合員の皆様にお会いしている日々です。全国各地を巡る中で、シニアクラブの先輩方にお会いする機会も頂戴し、熱い叱咤激励をいただき、感謝申し上げます。

ものづくり産業の発展と組合員の雇用と家族の生活を守る、はたらく者の視点に立った政策実現のため、本年も全国を駆け巡り皆様の元へお伺いし、ご意見を頂戴しに参りたいと思います。引き続きのご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

結びに、基幹労連シニアクラブの皆様が力強く本年の活動を踏み出されることを祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

皆さまの声を国会に届けるべく頑張っています！

基幹労連シニアクラブの皆さま、ご安全に！村田きょうこです。

第212回臨時国会が、昨年12月13日に閉会しました。11月末に補正予算が成立しましたが、人口減少への対策や成長力強化など、「緊急的」に編成するという、補正予算の趣旨に反するものが多く含まれています。しかも、その財源として、8兆円超の国債が発行されます。財政悪化につながる施策は厳しくチェックし、必要なところに必要な予算を組むべきと考えます。



国会最終盤では、自民党の派閥が開催した政治資金パーティーをめぐる「政治とカネ」が大きな問題となりましたが、「捜査に影響を及ぼす恐れがあるので、答弁は控えます」ばかりで、全く真相は解明されないまま。物価高が続き、国民の生活が苦しくなっている中、政治家が数千万、数億円もの資金を政治資金収支報告書に記載せず、裏金として使っている事態は、断じて許すことはできません。国民の政治不信を払拭するためにも、真相の徹底究明を求めるとともに、政治資金の透明化につながる政治資金規正法の改正も急務です。



一方、国会で「政治とカネ」の問題ばかりを追及している場合ではありません。物価高・ガソリン高への対応、医薬品の供給不足問題、子育て支援や防衛費の財源等、議論すべきことはたくさんあります。基幹労連では、AP24に向けた議論が始まっていますが、賃上げも大切なテーマです。11月の参議院経済産業委員会では、電力料金高騰対策や会社から支給される「食事補助」の非課税限度額の引き上げ等を求め、質疑をしました。引き続き、皆さまの声を国会に届けるべく、活動していきます。

1月から通常国会が始まります。委員会は、経済産業委員会、消費者問題に関する特別委員会、決算委員会に所属することになっています。今後ともご支援をどうぞよろしくお願いいたします。ご安全に！